



## 子どものオンラインゲーム高額課金 トラブルを防ぐには

### 事例

#### 【事例1】

私のゲーム機を8歳の息子に使わせていた。クレジットカードの請求が高額だったので確認すると、息子が次々とゲームのアイテムを購入し20万円も課金していることが分かった。私が課金しているところを見て操作を覚えてらしい。

#### 【事例2】

携帯電話代が急に高額になったので確認すると、12歳の息子が利用するスマホに携帯電話料金合算支払い（キャリア決済）の制限をかけていなかったため、息子が上限額までゲーム内で課金をして遊んでいたことが分かった。

### 助言



#### 【解説】

未成年の子どもにオンラインゲームを利用させる場合は、大人の管理が大切です。

未成年者が法定代理人の同意を得ないで契約していた場合、未成年者取り消しを主張することは可能です。しかし、大人の登録情報（アカウント）で子どもに利用させていた場合は、子どもが課金したという証明が難しいことや、クレジットカードや機器の所有者である大人の管理責任を問われる場合があり、取り消しが認められず返金されないケースもあります。

「課金を防ぐ」「課金に気づく」ために、機器の機能や設定を大人が十分確認し、よく理解したうえで利用させましょう。

#### 【トラブル防止対策ポイント】

- オンラインゲームの遊び方や課金する場合のルールを家族で話し合う。
- 大人の登録情報（アカウント）で子どもに利用させることは避ける。
- 子どもの利用を管理、保護できるように、ペアレンタルコントロールを活用する。
- 決済時にパスワードが必要になっているか確認する。携帯電話料金合算支払い（キャリア決済）の場合は、高額な請求にならないように、上限額を設定しておく。
- パスワードやクレジットカードの管理には十分注意する。
- 課金を行った場合、登録した大人のメールアドレスに決済完了メールが届くようになっているか確認する。